

年度末の慌ただしい時期でしたが、R7年4月26日より県内各地で開催される「第42回全国都市緑化ぎふフェア」会場のワールドローズガーデンに学校花壇の作製に環境デザイン科の生徒と参加してきました。

全国都市緑化フェアは、国民一人ひとりが緑の大切さを認識するとともに、緑を守り、愉しめる知識を深め、緑がもたらす快適で豊かな暮らしがある街づくりを進めるための普及啓発事業として、昭和58年（1983年）から毎年、全国各地で開催されている花と緑の祭典で、テーマ「清流の国ぎふ」から広げる自然と共生した暮らし、愛称「ぎふ グリーン・ライフ フェスティバル 2025」のもと岐阜県では初めて開催されます。

今回の花壇は生徒のデザインをもとに岐阜を表現できるよう考えて作成しました。



何もない場所に、舟や石を置き、植物を植栽し、竹垣を作成。与えられた材料から1つの空間を生み出す、環境デザイン科の学習を生かした活動に生徒は疲れた顔はしていましたが「楽しかった」と充実した時間を過ごせたようでした。

4日間という短い期間で、延40人ほどの1・2年生の生徒が作成に参加してくれました。





ぜひ、完成した花壇を見にワールドローズガーデンに来てください！

（西ゲートを入場しすぐの場所です）

多くの方が喜んでくれると嬉しいです。